

2024年度 医師処遇改善及び負担軽減計画

	目標	計画	評価
タスクシフティングの推進	看護師と業務分担をする	特定行為研修を受講する看護師の推進と活用。	特定行為研修修了の看護師 計6名を養成 「特定行為に係る看護師の研修制度」に指定され、2025年度より研修を開始する（2025年度 2名）
	薬剤師と業務分担をする	PBPMプロトコルの取り扱い薬剤を増やす。 服薬指導・持参薬処方代行入力	・PBPM ゾレドロン投与量調節→対象の診療科拡大 抗がん剤投与速度の修正（新規）
	臨床検査技師と業務分担をする	造影剤腹部超音波検査における静脈確保・造影剤注入・抜針の一連の行為の継続。 経皮的肝焼灼術（RFA）・肝生検の介助対応	造影超音波検査における静脈確保・造影剤注入・抜針の一連の行為。29件(外来27件、病棟2件) 経皮的肝焼灼術（RFA）・肝生検への参加は2024/7月～画像アシスト開始。(肝生検12件、PTGBD1件、PTAD2件、RFA1件)
	臨床工学技士と業務分担をする	告示研修を受講する臨床工学技士の推進と活用 心臓カテーテル業務への参加	2024.7.3 カテ室業務へ参加
	医師事務作業補助者と業務分担する	医師事務作業補助者が行える業務の拡大。	代行入力業務の拡大、管理料に対する診療記録の代行入力の開始 随時、症例登録業務に対応
	管理栄養士による業務分担する	患者からの嗜好の聞き取り、食事に関する代行入力。 入院患者の栄養指導オーダーの代行入力（特に、患者希望時やスタッフが必要と考える患者に対するオーダー）	食事摂取量が少ない方への聞き取りと食事の代行入力を実施（1979件/年間）。患者希望時や病棟スタッフからの依頼があった場合は栄養指導の代行入力を実施した。
	ITの利用	ITを活用した問診の継続（AI問診） ITを活用した入院案内	AI問診を一部導入
労働時間管理の適正化	時間外勤務時間の把握。 労働時間該当性の認識強化	所属長による時間外勤務時間の管理を強化。 所属長による面談実施を検討。	勤怠システムにて時間外申請をおこなうことで、所属長および各自で時間外勤務時間が把握でき、また、時間外が多い
複数主治医制の推進	各診療科において当番制の導入の推進	院内で検討。	継続
短時間雇用医師の活用	短時間雇用医師の活用	人材派遣会社の活用	短時間勤務医師の雇用と活用の推進（産婦人科1名、形成外科1名、外科1名）
オンコール体制の構築	診療科ごとのオンコール医師を配置	オンコール体制の把握 できていない診療科への働きかけ	継続
当直体制の適正化	当直体制の充実	連続当直を行わない勤務体制の実施	他病院からの応援を受け、連続での当直はなかった
処遇の改善	ベースアップ評価料と同等の処遇改善	診療報酬のベースアップ評価料を賃金に充当させる	計画に沿った対応をおこなった

2024年度 医療従事者処遇改善及び負担軽減計画

	目標	計画	評価
院内保育園の活用	休日、夜間保育の活用 推進	院内周知 保育園との連携	・入園希望者へ、入園面談時に案内（入園案内書にも記載） ・医師1名、看護師1名が利用。（平均月1回、1家族の利用頻度）
育児・介護休業法改正への取り組み	育児・介護休業法改正に ともなう規程の改正	当院の需要を鑑み、実情にあった内容	R7.1 規程の改正 子の看護休暇等の改正をおこない、全職員に周知をおこなった
男性職員の育休取得	男性職員の育休取得の推進	制度に関することの院内周知 実績の広報	薬剤部1名 20日間取得 医師1名 看護師1名

2024年度 看護職処遇改善及び負担軽減計画

	目標	計画	評価
業務量の調整	時間外労働が発生しないよう業務量を調整する	①ITを活用した問診の継続（AI問診） ②ITを活用した入院案内 ③病棟の状況に応じた他部署からの応援体制の確保	①一部の外来でAI問診を導入 ②一部でタブレットを用いた入院案内を導入 ③継続
看護職員と他職種との業務分担	薬剤師と業務分担をする	GS1バーコードを用いた、医薬品チェックシステムの導入を検討。	導入未
	臨床検査技師と業務分担をする	①病棟採血の拡大をする ②血小板粘着能検査の採血対応 ③持続皮下グルコース検査（リブレ）器機の装着と脱着、管理体制の構築	①2-6病棟 1381件（前年度1268件）の採血を実施。早出勤者の人員調整が難しく対象病棟の増加は今後も検討とする。 ②年間2件（前年度2件）対応。 ③年間12件（前年度3件）対応。
	臨床工学技士と業務分担をする	①医療器機の管理の継続 ②超音波ネブライザー、エアーマット、吸痰器、救急カートの消耗品、感染患者が利用するバイタルサイン測定セットの管理の継続 ③手術室への人員の配属	①②は継続 感染患者が利用するバイタルサイン測定のセット及び感染患者用壁掛式吸引器の使用台数増加に伴い状況確認のため通常機器と同様にバーコード管理しによる貸出し・患者登録実施できるよう運用を変更した。 ③手術室への人員の配属 2025.4～1名配属
	医師事務作業補助者と業務分担する	①外来の診療の補助の拡大	継続
	医事課職員と業務分担する	①医療費（高額医療費）の相談、説明	①入院後、本人及び患者家族への早期介入の実施
	歯科衛生士と業務分担する	①挿管患者の口腔ケアの介入	NPPV21件、挿管5件に介入。
	管理栄養士と業務分担する	①食事摂取不良患者への対応の継続	食事摂取量が少ない方への聞き取りと食事の代行入力を実施（1979件/年間）。
	放射線技師と業務分担	①造影剤の穿刺ルートの確保、注入、抜針までの一連の行為と基準作成 ②大腸CT検査時のチューブ挿入、ガスの注入、抜去までの一連の行為の継続	①今年度はRI担当2名が看護部注射研修を受講した。基準作成に関しては、草案は出来ており各関係部署との調整中。来年度は1名受講するよう計画し依頼した。 ②実施は継続している。
	施設課職員と業務分担	①施設課職員による病室の消毒作業の継続	必要に応じて継続
	入退院支援センター	①問診や説明、支援指導の充実	看護師による入院支援の件数は増加しているが、多職種の介入が進んでいない。
看護補助者の確保	看護補助者の確保をする	①派遣の看護補助者の採用、教育	退職者もあり、現在3名が勤務している。
短時間正規雇用看護師の活用	短時間正規雇用看護師を有効に活用する	①週休3日制度の推進	3月の時点で7名（21人中）が制度を利用している。
多様な勤務体制の導入	多様な勤務体制の導入	①家庭の事情に合わせた勤務制限 早出、遅出勤務の調整。夜勤制限、勤務移動など	各部署で調整している。
妊娠・子育て中、介護中の看護師に対する配慮	妊娠・子育て中、介護中の看護師に対する配慮	①復帰前のならし業務	2名が利用している（1日1名、3日1名）。
処遇の改善	ベースアップ評価料と同等の処遇改善	診療報酬のベースアップ評価料を賃金に充当させる	計画に沿った対応をおこなった